

フリーボード

福岡 熊本 佐賀 長崎 大分 宮崎 鹿児島 沖縄

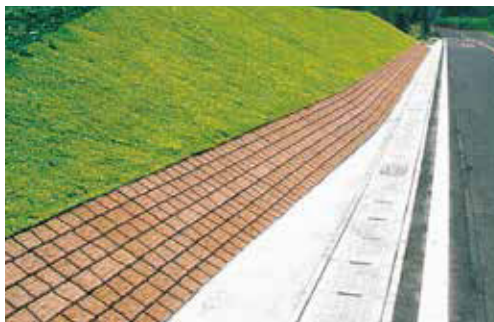
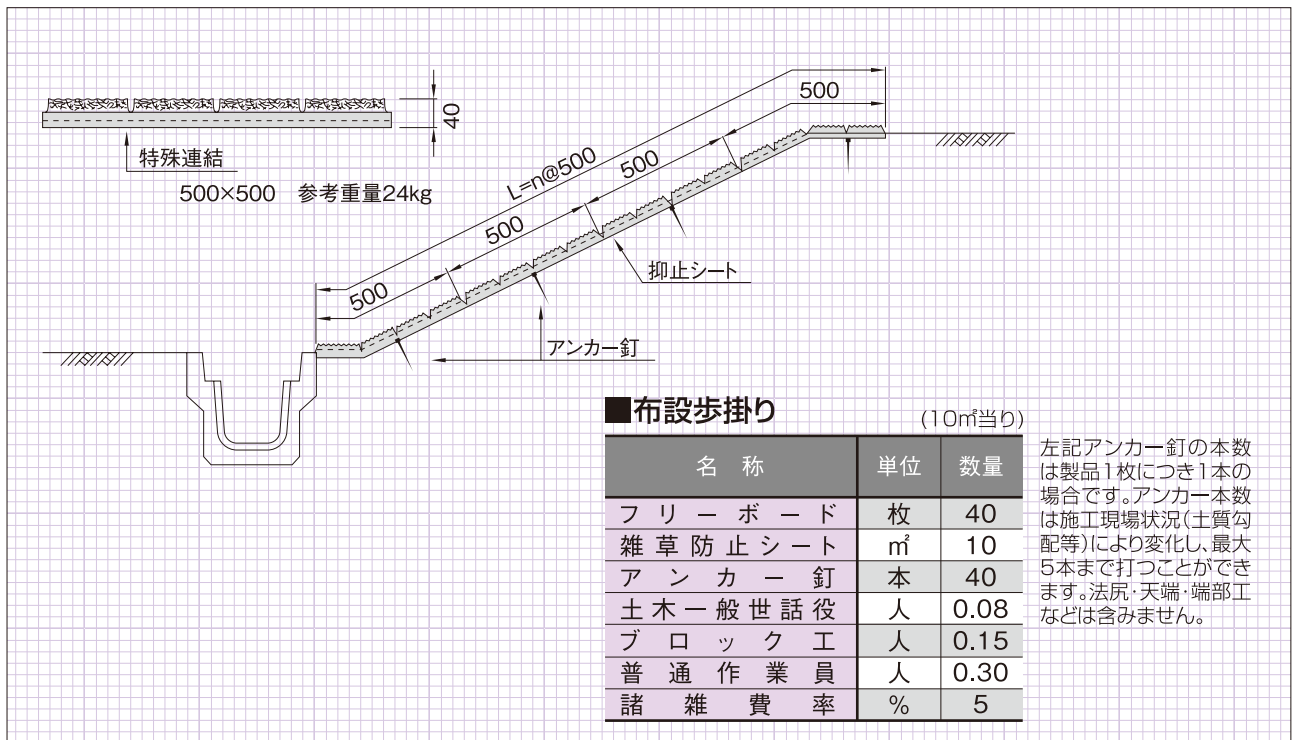
特長

軽量かつ柔軟

■一枚あたりの重量が24kgと軽くフレキシブル性のあるフリーボードは、多少の起伏があっても施工面になじむ特性がありますので、簡単で効率の良い施工が可能です。製品には特殊連結を施してありますので、簡単に切断加工ができます。



■施工断面図



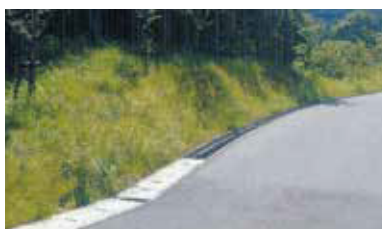


- **雑草の生育防止に有効**
道路、河川の法尻や法肩にフリーボードを設置するだけで簡単に雑草の生育を防ぐことができ、法面の維持管理における費用が軽減されます。

- **自然にやさしい景観材**
フリーボード工法は、溝部分から適度な草の成長もあり、生物の生育環境を損なわずに周囲の自然と調和した景観を創造します。また、製品の表面はノンスリップ効果のある石面形状で、小動物や昆虫の移動を妨げることもありません。



■ 施工手順



1. 法面の整正

施工する法面部分の整形及び雑草の除去を行います。フリーボードは柔軟性を持ち、施工面に多少の起伏があっても据え付けの際には問題ありませんが、沈下するなどした場合は填圧してください。



2. 雑草抑止シートの貼り付け

専用の雑草抑止シートを施工する法面に貼り付けます。構造物との接続部には隙間のないように敷き詰めてください。尚、シートの上に土埃や土砂がある場合は必ず除去してください。雑草抑止効果を低下させる場合があります。



3. フリーボードの設置

法面の一番下になる位置を決めて、フリーボードを下側から敷き込みます。原則として隙間のないように据え付け、シートが露出しないようにしてください。



4. アンカー打ち込み

ある程度の枚数を据え付け、目地通りをチェックした後、専用のアンカー釘を打ち込み固定します。1枚あたり1本のアンカー釘を打ち込みますが、比較的勾配の急な法面には3～4本の釘を打ち込みます。



5. 法尻の調整

現場状況に応じて、法尻などの処理を行います。折れ曲がり部分と隙間が5mm以上ある場合や、構造物との接続部には必ず十分にモルタル充填を施してください。



6. 仕上がり・完成